

子どもの本だな 73

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

せかい1 おいしいスープ

マーシャ・ブラウン え わたなべ しげお やく (ペンギン社)
ある村に、はらぺこの3人の兵隊がやってきました。何か食べるものをわけてほしいと頼んでも、村には余分な食べ物はありません。そこで3人は「石のスープ」を作ることにしました。それを聞いた村人たちは、覚えておかなければ損だと集まってきました。まず兵隊たちは、大鍋に水を入れて火にかけると石を3つ入れました。「塩とこしょうがいらいますな」と兵隊たちが言うと子どもたちが取りに走りました。「にんじんがあればもっとうまくなるのになあ…」「キャベツがあればなあ…」兵隊たちがつぶやくたびに村人たちは隠していた野菜や牛肉を次々に運んできて、とうとう世界一おいしいスープができあがりました。

オレンジと黒の2色の絵は表情豊かで、お話を一層ひきたてます。できあがったスープと共にパンや焼肉などのごちそうがテーブルに並び、皆で楽しそうに食べる結末に大満足です。

読んでもらえば5歳くらいから。(池之上)

ツバメの谷 ランサム・サーガ2

アーサー・ランサム 作 神宮 輝夫 訳 (岩波書店)
夏休み、ウォーカー一家の4人きょうだいは、ヤマネコ島でのキャンプや帆走を楽しみにしていました。ところが、ジョンのちょっとした判断ミスでツバメ号が難破、船を修理に出すことになりました。皆の気持ちは沈みますが、探険に出かけたティティとロジャが、すばらしいキャンプ地を発見しました。そこは水場も近く、溪流でマス釣りができ、食糧庫や隠れ家にもなる洞穴もあります。4人はそこを「ツバメの谷」と名づけました。

一方、去年仲間になったブラケット姉妹は、しつけの厳しい大お婆さんの滞在でキャンプに参加できなくなっていました。4人に秘密の手紙を届け、家から抜け出してカヌーで待ち合わせ、全員で「カンチェンチュンガ」山の頂上をめざします。

座礁して沈んだ船の引き上げ、初めての寝袋での夜明かし、濃霧の中での迷子など、ハラハラする出来事も起こりますが、子どもたちは、そのつど精一杯考え、たくましく乗り切ります。11歳くらいから。(池田)

11月	12月	11・12月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
7日	5日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
14日	12日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
21日	19日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

◆◆恐竜 de あすかイチ◆◆
11月17日(日) 9:30~16:00

①恐竜講演会
恐竜や太古の生き物について学ぼう!
~篠山層群から発見された恐竜・小さな動物化石~
・講師: 池田 忠広 氏
(兵庫県立大学 准教授)
・時間: 13:30~15:30
・場所: あすかホール 中ホール
・定員: 250名 (入場無料・申込不要)
・対象: 小学3年生以上

②ハイハイレースと絵本の時間
手遊びと絵本を楽しんだあと、ハイハイレースに参加してみませんか。
・時間: 10:30~11:30
・場所: あすかホール 研修室
・対象: 1歳くらいのハイハイできるお子さんとその保護者
・定員: 先着20組 (要申込)
※申込・問合せは、あすかホールまで。

『恐竜の世界史 負け犬が覇者となり、絶滅するまで』 スティーブ・ブルサツテ 著

黒川 耕大 訳 みすず書房 323 頁 2019 年 8 月刊 3,500 円 (請求記号) 457.8

少年時代から恐竜に大変な興味を持ち、遠足はいつも博物館だったという著者は望み通り古生物学者になった。そして過去や現在の研究仲間と積み重ねてきた成果をもとに、恐竜の誕生から絶滅するまでの世界を分かりやすく描いた。

約 46 億年前に生まれた地球。やがて細菌が誕生し、脊椎動物が現れ、大量絶滅を何度か経験しながら新しい生物が誕生していく。そして三畳紀、広大なパンゲア大陸に代表的な現生動物が誕生する。恐竜も生まれていたが目立つ存在ではなかった。ところが、三畳紀の最後、大陸が割れ、マグマが地表へ噴出し、また大量絶滅が起こった。つづくジュラ紀、いよいよ恐竜が台頭しはじめた。

恐竜繁栄の 1 つ、竜脚類が巨大化した原因を著者たちは考えた。36 m の完全骨格の写真を CG にし「写真量法」で大きさを測り、超大型種アルゼンチノサウルス(ティタノサウルス類)の体重が 50 t と割り出した。これほどの大きさになるには「食べ物を取らん食べないといけない」そして「速く成長しないといけない」「極めて効率的に呼吸をしないとイケない」「余分な体熱を発散できないといけない」のだが、著者たちは研究を進め、竜脚類の特徴である長い首、成長率の速さ、効率のいい肺、骨格を軽くするための気嚢、体を冷やすための気嚢を見つけ納得のいく説明をしてくれる。またティラノサウルスの生きていた頃の姿や、現生する恐竜である鳥の発達、絶滅の原因など興味深いことを知ることができる。

恐竜を手掛かりにして地球の辿った歴史に仮説を立て、それを裏付ける化石を掘り出し、研究し結論を導き出していく。100 年前に掘り出された化石を現在の技術で検証し、空白の時を埋めるために、あらゆるところに出かけていく古生物学者たち。陽気でひたむきな彼らとユーモアのある文章から、エネルギーをもらう。

(西村)

11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	年未年始の休館日 12/29~1/3			

* カレンダーの×印は休館日 * □は館内整理日、返却のみ受付(10:00~17:00)
* 開館時間は 10:00~18:00、金曜日は 20:00 まで開館

※12/25~26 は、システム保守のため臨時休館します。

<お知らせ>

A) きょうりゅう工作教室

きょうりゅうに好きな色をぬって、マグネットかバッジを作ろう!

・日時: 11月10日(日)

①10:30~②11:00~③11:30~

B) 化石作り教室

ねんどでアンモナイトの化石ストラップを作ろう!

・日時: 11月24日(日)

①10:30~②10:45~③14:00~

※A・B共通

・場所: 図書館 読書会室

・対象: 4歳以上

・定員: 各時間5名(要申込)

・参加費: 無料

地下水

なぜだろう。「地下水」の担当であることはわかっていながら、一文字も書けないまま、印刷日の3日前を迎えた。それなのに、驚くほど心穏やかに「ああ、書けないな」と他人事のように思っているのが、我ながら不思議だ。

みな原稿が提出され、「地下水」のみができていない状況に、「Iさんが「10月には読書会がありましたよ。恐竜検定もしていますよ。いまは曝書中ですよ。」とあれこれ書けそうなことを提示してくれた。読書会で『地下の洞穴の冒険』を読んだのはつい最近だったのか: 恐竜検定は、全間に目を通すのも時間の無駄なほど知識がないと、ぼやくつとしていると、恐竜検定の初級、中級に続きさまに挑戦する男の子のそばで、「ひとつもわからん」と苦笑いするお父さんのことがふんわり思い出された。続いて、神戸からの帰省中に絵本の時間にやってきたYさん親子のこと。絵本を読む間、Yさんの2歳の男の子が指3本を吸うチュッシュが途切れることがなかった。毎日やってきて館員の勧める本を借りるKちゃん。おはなしを聞いている5年生の表情。大きな出来事ではないけれど、ふと思いついて、またふわりと気持ちよくなる日常のなかで仕事ができることがうれしい。

(竹内)

